



東証二部上場

証券コード

[3198]

平成28年2月期第一四半期決算 (補足資料)

SFPダイニング株式会社



平成28年2月12日

(1) 業績ハイライト

平成28年2月期 第1四半期

| | |
|-------|----------------------|
| 売上高 | 8,686百万円(前期比+ 32.0%) |
| 経常利益 | 1,034百万円(前期比+ 88.4%) |
| 当期純利益 | 613百万円(前期比+ 98.3%) |

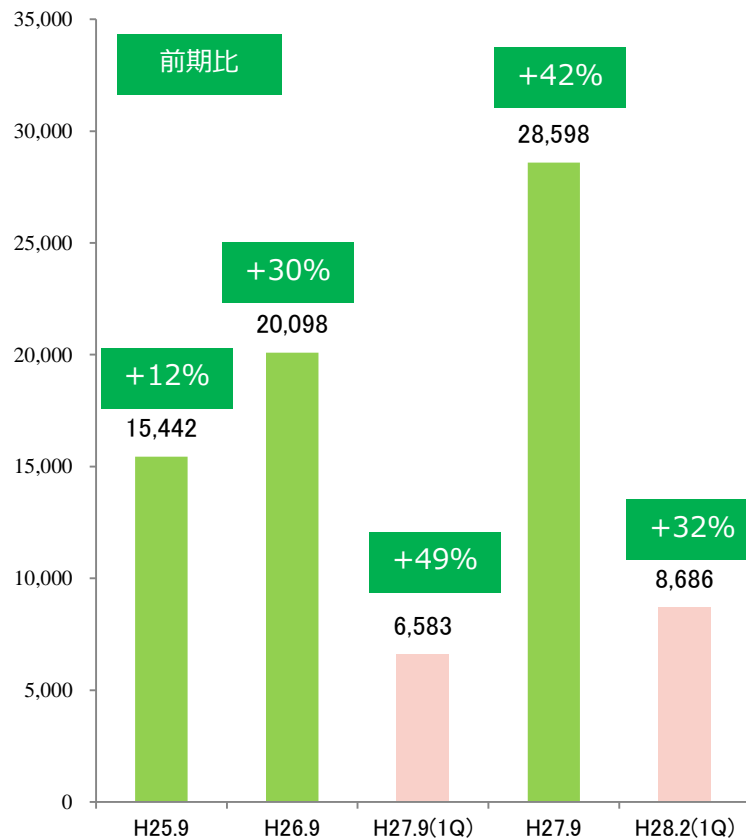
- 新規出店は計画17店舗に対し、収益性の高い磯丸水産を首都圏(繁華街、郊外、ビジネス街)・関西圏に12店舗出店。また、3店舗目となるFC店舗を1店舗出店。好調な鳥良商店を4店舗、きづなすしを1店舗出店し、計画を上回る18店舗を出店。
- 既存店売上高は前年比▲1.5%で推移。
- 全社ベースでの原価率は、原価率の高い磯丸水産の売上高構成比増により+0.4%で推移。
- 販管費率は、家賃負担については横ばいで推移、また、人件費は効率的な出店オペレーションの実施により▲3.3%で推移。

(2) 業績推移

磯丸水産の出店により成長スピードを加速。売上、利益・利益率共に成長を継続中

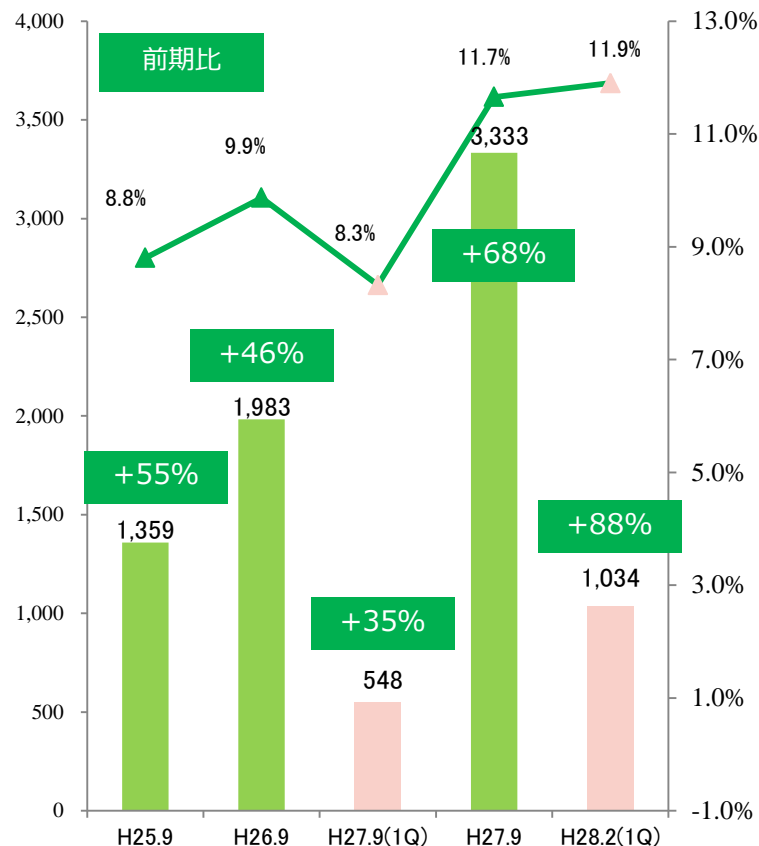
売上高

(百万円)



経常利益 (左軸) ・売上経常利益率 (右軸)

(百万円)



(3) 損益計算書の概要

積極的な新規出店に伴う開業費用を吸収し、増収増益を達成

単位：百万円／下段は構成比

| | 平成27年9月期 第1四半期 | 平成28年2月期 第1四半期 | | | 概要 |
|----------------|-------------------|-------------------|--------|--------|---|
| | | 実績 | 前期比 | 増減額 | |
| 売上高 | 6,583 (100.0%) | 8,686 (100.0%) | +32.0% | +2,104 | 鳥良事業 +263 磯丸事業 +1,718 その他事業 +123 |
| 売上総利益 | 4,748 (72.1%) | 6,228 (71.7%) | +31.2% | +1,480 | 原価率の高い磯丸水産の売上高構成比増により ▲0.4%で推移 |
| 販管費 | 4,195 (63.7%) | 5,253 (60.5%) | +25.2% | +1,057 | 家賃比率は前期比横ばい、人件費については 効率的な出店オペレーションの実施により ▲3.2%で推移 |
| 営業利益 | 552 (8.4%) | 975 (11.2%) | +76.4% | +422 | 新規出店の開業費用を吸収して、増益 |
| 経常利益 | 548 (8.3%) | 1,034 (11.9%) | +88.4% | +485 | 営業外損益は、前期の上場に伴う費用負担分が 軽減され増益 |
| のれん償却前 経常利益 | 617 (9.4%) | 1,102 (12.7%) | +78.6% | +485 | |
| 四半期純利益 | 309 (4.7%) | 613 (7.1%) | +98.3% | +304 | |

(4) 売上高の内訳

成長ドライバーの磯丸水産が大幅増収を牽引

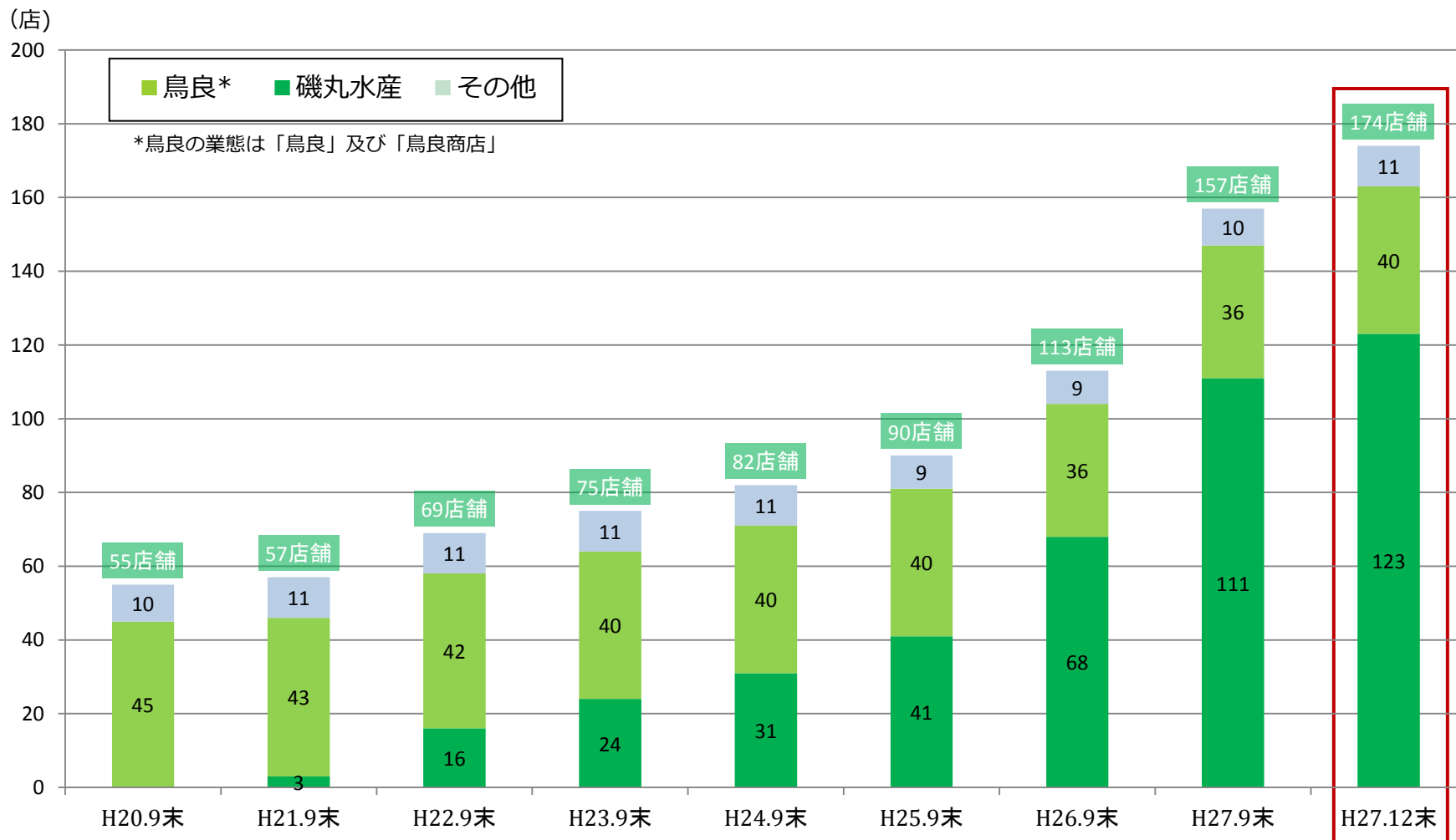
単位：百万円／下段は構成比

| | 平成27年9月期 第1四半期 | 平成28年2月期 第1四半期 | | |
|--------|-------------------|-------------------|--------|--------|
| | | | 前期比 | 増減額 |
| 売上高 | 6,583 (100.0%) | 8,686 (100.0%) | +32.0% | +2,104 |
| 鳥良 | 1,528 (23.2%) | 1,790 (20.6%) | +17.2% | +263 |
| 磯丸水産 | 4,620 (70.2%) | 6,339 (73.0%) | +37.2% | +1,718 |
| その他 | 435 (6.6%) | 557 (6.4%) | +28.2% | +123 |
| | 10月 | 11月 | 12月 | 第1四半期 |
| 既存店前年比 | 101.7% | 94.5% | 99.3% | 98.5% |

- 鳥良の既存店前年対比は▲0.1%。30周年感謝祭を実施した前年同期間に対し、ほぼ横ばいで推移。また、鳥良商店を4店舗出店したことにより、事業全体での売上は増収。
- 磯丸水産の既存店前年対比は、前期に開業景気が発生した一部店舗の影響を受け、▲3.1%。一方で積極的な新規出店および前期開業店舗の通期寄与により、大幅増収。
- その他事業では、すし職人が握る本格すしの店「きづなすし」の3号店「大宮店南銀座通り店」を10月に出店。また1号店の「歌舞伎町店」が好調に推移し増収。

(5) 業態別店舗数の推移(FC含む)

「磯丸水産」は平成21年開業以来、出店を加速。現在は当社の成長ドライバーに



(6) 店舗展開の状況

今期の出店計画を1店舗上回る

| | (事業別) | | | | (地域別) | | | |
|------------------------|-------|------|------|--------|------------------------------------|------------|---------------|-------------|
| | 鳥良 | 磯丸水産 | その他 | 合計 | 東京 23区内 | 東京 23区外 | 首都圏 (東京以外) | 関西圏 中部地方 |
| 平成27年9月末 | 36 | 111 | 10 | 157 | 83 | 16 | 46 | 12 |
| 出店 (a) | +4 | +13 | +1 | +18 | 6 | 5 | 3 | 4 |
| 業態転換 | 0 | ▲1 | 0 | ▲1 | 0 | ▲1 | 0 | 0 |
| 閉店 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 平成27年12月末 | 40 | 123 | 11 | 174 | 88 | 21 | 49 | 16 |
| 平成28年2月期 通期出店計画 (b) | 4 | +12 | +1 | +17 | | | | |
| (a)/(b) | 100% | 108% | 100% | 105.9% | 通期出店計画 17店舗に対し、 18店舗 (FC含む) を出店 | | | |

(7) 新規出店の状況

首都圏(繁華街、郊外、ビジネス街)、関西圏への積極的な出店

【平成27年12月末時点】

鳥良商店： 4店
磯丸水産： 13店
きづなすし： 1店

<兵庫県>

尼崎中央商店街店
(磯丸水産)

<大阪府>

梅田お初天神前店
(磯丸水産)

なんば南海通り店
(鳥良商店)



<埼玉県>

大宮南銀座通り店
(きづなすし)

春日部西口店
(鳥良商店)

<東京都>

武蔵境すきっぷ通り店
(磯丸水産)

十条銀座商店街店
(磯丸水産)

お花茶屋駅前店
(磯丸水産)

聖蹟桜ヶ丘東口駅前店
(磯丸水産)

神田北口店
(磯丸水産)

平井南口店
(磯丸水産)

有楽町日比谷店
(磯丸水産)

分倍河原店
(磯丸水産)

立川北口大通り店
(磯丸水産)

有楽町日比谷店
(鳥良商店)

八王子駅前銀座通り店
(鳥良商店)

<神奈川県>

元住吉オズ通り店
(磯丸水産)



<愛知県>

今池店
(磯丸水産)

FC店舗

(8) 貸借対照表の概要

単位：百万円／下段は構成比

| | | 平成27年9月期末 | 平成28年2月期 第1四半期末 | |
|----------|------|--------------------|--------------------|---------------------------------------|
| | | | 前期末増減額 | 主な増減要因 |
| 資産 | 流動資産 | 11,338 (47.8%) | 10,430 (44.5%) | ▲907 現預金▲923 積極的な新規出店、 未払法人税の減少 |
| | 固定資産 | 12,374 (52.2%) | 13,023 (55.5%) | +649 有形固定資産+520 敷金及び保証金+155 |
| | 資産合計 | 23,712 (100.0%) | 23,454 (100.0%) | ▲258 |
| 負債 | 流動負債 | 4,406 (18.6%) | 4,165 (17.8%) | ▲241 未払法人税等▲767 買掛金+297 |
| | 固定負債 | 1,101 (4.6%) | 1,037 (4.4%) | ▲64 長期借入金▲36 |
| | 負債合計 | 5,508 (23.2%) | 5,202 (22.2%) | ▲306 |
| 純資産合計 | | 18,204 (76.7%) | 18,251 (77.8%) | +47 四半期純利益+613 配当支払▲578 |
| 負債・純資産合計 | | 23,712 (100.0%) | 23,454 (100.0%) | ▲258 |

(9) 平成28年2月期業績予想

平成27年10月から平成28年2月の5か月間の変則決算、業績予想は前回公表時から変更なし

平成28年2月期 業績予想

今期の取り組み

単位：百万円／下段は構成比

| | 平成26年10月 ～平成27年2月 実績 | 平成28年2月期（予想） | |
|----------------|----------------------------|--------------------|--------|
| | | | 前期比 |
| 売上高 | 10,976 (100.0%) | 13,780 (100.0%) | +25.5% |
| 売上総利益 | 7,916 (72.1%) | 9,887 (71.7%) | +24.9% |
| 販売費及び 一般管理費 | 6,974 (63.5%) | 8,637 (62.7%) | +23.8% |
| 営業利益 | 942 (8.6%) | 1,250 (9.1%) | +32.7% |
| 経常利益 | 994 (9.1%) | 1,340 (9.7%) | +34.8% |
| 当期純利益 | - | 590 (4.3%) | - |

- 新規出店の継続。磯丸水産を中心に、好調な鳥良商店も数店舗出店
- 新業態のトライアルを実施し、収益機会の多様化を図る
- 出店に伴う人員の確保に向け、中途採用の拡充、新規学卒者の安定的な採用、地方採用、媒体数の拡大等、採用チャネルを増加。また、社内アルバイトからの登用を拡大し、定数を確保
- 社員の階層に合わせた研修プログラムの開発・実施
- 外部機関のチェックを導入し、さらなる衛生管理の強化を図る
- 運営状況を踏まえて、店舗のスクラップ&ビルドを慎重に実施する

(注) 平成26年10月～平成27年2月の数値は未監査のため、参考値となります

- ◆ 本資料はSFPダイニング株式会社(以下、当社)の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- ◆ 本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されています。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。
- ◆ また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

【本資料および当社IRに関するお問い合わせ先】

S F P ダイニング株式会社

経営企画部

TEL : 03-5491-5869

ホームページ : <http://www.sfpdining.jp/>